

看護学科

1年

科目名: 母性看護学概論				担当教員 氏名: 矢野恵子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 後期	専門科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		母性看護の対象は、女性のライフサイクル全般と家族の健全な構築を目的としており、実務において実習等で出会う対象に対して、できるだけ具体的な例を用いて学ぶことが大切であることがわかった。このため、映像資料を用いて、実際の対象と具体的に比較できることで、実習に入ったときにわかるような授業構成とした。				
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
母性看護学は女性のライフサイクルと女性をとりまく環境を理解し、母性看護に必要な能力の習得を目指す。 本講では母性看護学の導入として、母性および母性看護学の概念を理解し、母性看護の基本的な考え方について学習する。 また、母性看護の対象はあらゆる人づくりの基礎をなす広義の母性である。女性の一生にわたる母性機能の発達とその時期に応じた健康問題について看護学とその関連領域の概念枠組みを用いながら理解を深める。 さらに統計から見た母性看護の動向をさぐり課題を考える。				ライフサイクル、女性、労働、性、生殖		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5		
A 知識・理解力		母性看護の基礎的知識を理解する。				
B 専門的技術		母性看護の対象把握の技術を理解する。				
D 問題解決力		自身のライフステージを基にライフサイクル各期の女性について考える。				
E 自己管理能力		自身の性機能の健康管理をする。				
G 倫理観		受精による生命の再生産について深く考える。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 80 %	レポート: 10 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: グループラーニング・作業を行います。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業ガイダンスでレポート課題を提示します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時にコメントを提示します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①母性看護学の基盤となる概念				シラバス・テキストの熟読	180分	
②母性看護学の対象を取り巻く社会の変遷と現状				国民衛生の動向熟読・課題	180分	
③母性看護の対象の理解・性機能と妊娠				テキストの熟読	180分	
④女性のライフサイクルと看護1)				発達看護概論の復習	180分	
⑤女性のライフサイクルと看護2)				テキストの熟読	180分	
⑥女性のライフサイクルと看護3)				テキストの熟読	180分	
⑦世界における母性看護、様々な母性看護の対象、リプロダクティブヘルスケア				課題の復習	180分	
⑧まとめ				発達看護概論の復習	180分	
使用テキスト: ①系統看護学講座: 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学[1] ISBN978-4-260-02188-3 ②系統看護学講座: 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学[2] ISBN978-4-260-02179-1 ③母子健康手帳				その他参考文献など: 国民衛生の動向		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 女性、子ども、家族、社会について歴史の視点からの読書をすすめます。 映像資料を用いての授業を行いますので、事前にテキストを熟読してください。						